

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム第 28 回幹事会議事次第

- 1 日 時：令和 6 年 7 月 24 日（水）13 時 30 分～14 時 30 分
- 2 場 所：オンライン（Zoom）
- 3 出席者：寶（会長）、甘利（副会長）、遠藤（副会長）、岡島、大貫（石濱委員代理）
オブザーバー：林（東京海上日動）
陪席者：松室（防災科学技術研究所）、松本（〃）、倉谷（〃）、田代（〃）、小松原（セコム）、
増田（筑波大学）、栗原（〃）、酒井（〃）、根本（〃）

（敬称略）

4 議事

I. レジリエンス研究教育推進コンソーシアムに係る事案

- (1) 2024 年度シンポジウム〔10 月 18 日開催〕について 資料 1
- (2) 巨大災害研究会との合同シンポジウム〔2 月 28 日開催〕について 資料 2
- (3) キャリアマッチングデー開催報告及び次回について 資料 3
- (4) 令和 6 年度下半期の活動計画について 資料 4
- (5) その他
・筑波大学マレーシア校との連携について

II. 筑波大学リスク・レジリエンス工学学位プログラムに係る事案

- (1) 令和 6 年度実施入試（7 月期）の結果について
- (2) 「レジリエンス研究教育推進コンソーシアム活動報告 Vol. 2」発刊について 別冊資料
- (3) その他

（配付資料）

- | | |
|------|---|
| 資料 1 | 2024 年度レジリエンス研究教育推進コンソーシアムシンポジウム企画（案） p.3 |
| 資料 2 | 2024 年度巨大災害研究会・R2EC 合同シンポジウム企画（案） p.4 |
| 資料 3 | キャリアマッチングデー開催報告 p.5 |
| 資料 4 | レジリエンス研究教育推進コンソーシアム令和 6 年度年間活動計画 p.7 |
| 別冊資料 | レジリエンス研究教育推進コンソーシアム活動報告 Vol. 2 |

2024 年度レジリエンス研究教育推進コンソーシアムシンポジウム企画案

「博士人材の活用を再考する：産学協働で描くイノベーター育成の道（仮）」（幹事会で決定）

- ・日時：令和 6 年 10 月 18 日（金）14:00-16:30
- ・場所：秋葉原コンベンションホール（千代田区外神田 1-18-13）<https://www.akibahall.jp/access.html>
- ・定員：90 名（申込締切 10 月 15 日（火））

・背景と目的:

日本は人口 100 万人あたりの博士号取得者が英国やドイツの 3 分の 1 程度と少ない。科学技術力や経済力の低下が進み、国際社会におけるプレゼンスが薄れており、これ以上若者の「博士離れ」が続くと、国力の低下が懸念される。しかし、企業の博士人材の採用意欲は依然低く、今年 2 月の経団連の調査によると、企業の 76.4%が博士人材を 10 人未満しか採用しておらず、23.7%の企業は全く採用していない。この状況を打開するため、政府や大学、産業界が博士人材の処遇改善や活用推進を目指して様々な取り組みを行っているが、その周知や相互理解が不足している現状がある。

そこで、本シンポジウムでは、博士人材に期待することや活用の障壁となっている課題について、産業界からリアルな声を聞くことに主眼を置きつつ、産業界と大学で忌憚のない意見交換を行う。

また、筑波大学が取り組んでいる産学協働のコンソーシアムによる「協働大学院方式」の博士人材育成を一つの事例として、その魅力や課題についても検討する。これらを通じて、産学で博士人材の価値と重要性に対する相互理解を深めることを目的とする。

・参加者:

- 企業の人事担当者や経営層
- アカデミア関係者（大学教職員、博士課程の学生等）
- 政府関係者
- メディア関係者

・プログラム（案）

- 14:00-14:05（5 分） 開会挨拶：主催者挨拶とシンポジウムの目的説明
国立研究開発法人防災科学技術研究所 理事長 寶 馨（コンソーシアム会長）
- 14:05-14:25（20 分） 基調講演：日本の博士人材の現状と課題（**官**の視点）
文部科学省（調整中）
- 14:25-14:45（20 分） 話題提供①：博士人材の採用と活用（**企業**の視点）
NTT 宇宙環境エネルギー研究所 所長 前田 裕二
- 14:45-15:05（20 分） 話題提供②：博士人材の育成と送り出し（**大学**の視点）
筑波大学システム情報系 教授 遠藤 靖典（コンソーシアム副会長）
- 15:05-15:30（25 分） コーヒーブレイク
- 15:30-16:25（55 分） パネルディスカッション：博士人材の活用を再考する
・文部科学省（調整中）
・NTT 宇宙環境エネルギー研究所 所長 前田 裕二
・東急総合研究所 主任研究員 真城 源学（調整中）
・筑波大学システム情報系 教授 遠藤 靖典
・筑波大学システム情報系 教授 岡島 敬一（モデレーター）
- 16:25-16:30（5 分） 閉会挨拶：まとめと今後の展望
セコム株式会社 IS 研究所 甘利 康文（コンソーシアム副会長）

・今後のスケジュール

- 7 月：企画・登壇者決定
- 8 月：広報物（ポスター等）作成
- 9 月：広報

2024 年度巨大災害研究会・R2EC 合同シンポジウム企画案 「スマートシティと防災（仮）」

- 日時：令和 7 年 2 月 28 日（金）14:00-16:30
- 場所：関西大学梅田キャンパス KANDAI Me RISE ホール
<https://kandai-merise.jp/access/>
- 形式：原則対面（簡易オンライン配信あり）

- プログラム（案）※以下、全て調整中
 1. 開会挨拶・趣旨説明（5 分）
 2. 基調講演
 - 基調講演①（20 分） 元富山市長（巨大災害研究会側）
 - 基調講演②（20 分） 東急プロパティマネジメント（R2EC 側）
 - 基調講演③（30 分） 鈴木 健嗣教授（筑波大学システム情報系長）
 - ～休憩（15 分）
 3. パネルディスカッション（55 分）
 - 基調講演者 3 名＋パネルコメンテーター 2 名＋コーディネーター 1 名
 - ※パネルコメンテーターは R2EC、巨大災害研究会から 1 名ずつ
 - 基調講演を聞いたコメントを 5 分程度ずつ
 - ※（候補）コーディネーター：遠藤先生
 - R2EC：防災科研
 - 巨大災害研究会：井ノ口先生 or 木村先生
 4. まとめ・閉会挨拶（5 分）

筑波大学×レジリエンス研究教育推進コンソーシアム キャリアマッチングデー 開催報告

以下のとおり開催いたしましたので、ご報告いたします。

1. 日 時 2024 年 7 月 8 日（月）13:30-16:00
2. 場 所 筑波大学第 3 エリア プレゼンテーションルーム（3B213）
3. 参加者

◆ 企業・研究所（6 機関） 18 名

- ・セコム株式会社
- ・日本電信電話株式会社（NTT R&D）
- ・国立研究開発法人 産業技術総合研究所
- ・国立研究開発法人 電子航法研究所
- ・国立研究開発法人 防災科学技術研究所
- ・一般財団法人 日本自動車研究所

◆ 筑波大学学生 52 名
（内訳）

大学院生 42 名

- ・リスク・レジリエンス工学学位プログラム：29 名（M1…19 名、M2…8 名、D3…2 名）
- ・情報理工学位プログラム：4 名（M1…1 名、M2…1 名、D2…2 名）
- ・知能機能システム学位プログラム：4 名（M1…3 名、D1…1 名）
- ・構造エネルギー工学学位プログラム：3 名（M1…2 名、D1…1 名）
- ・社会工学学位プログラム：1 名（M1…1 名）
- ・生物学学位プログラム：1 名（M1…1 名）

学類生 10 名

- ・工学システム学類：6 名（4 年次…6 名）
- ・情報科学類：3 名（3 年次…1 名、4 年次…2 名）
- ・地球学類：1 名（1 年次…1 名）

4. プログラム

第 1 部：全体セッション（13:30-15:00）

全体セッションでは、まず、筑波大学システム情報工学研究群長でレジリエンス研究教育推進コンソーシアム副会長の遠藤靖典教授より挨拶があった。

続いて、「各機関からの情報提供」として、今回参加した 6 つの企業・研究所より、所属機関の紹介、並びにインターンシップ・就職情報の提供があった。



全体セッションの様子①



全体セッションの様子②

第2部：個別相談カフェ（15:00-16:00）

個別相談カフェでは、各機関のブースに分かれ、カジュアルな雰囲気の中で名刺交換やインターンシップ・就職相談等が行われた。



個別相談の様子：セコム



個別相談の様子：NTT R&D



個別相談の様子：産業技術総合研究所



個別相談の様子：防災科学技術研究所



個別相談の様子：電子航法研究所



個別相談の様子：日本自動車研究所

5. 総括

全体セッションの参加学生数は50名を超え、個別相談でも学生が各ブースを回って熱心に質問する姿が随所で見られるなど、盛況となった。参加いただいた企業・研究所の皆様にご礼申し上げたい。

学生からは、短時間で様々な機関の情報が得られたこと、今まで知らなかった機関を知ることができたこと、フランクな交流の場が設けられていたことなどに対してポジティブな意見があった。

企業・研究所からも次回開催を望む声をいただいた。今回得られた意見を活かし、次回はより多くの機関や学生が参加できるように企画の早期検討を進めたい。

以上

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム 令和6年度年間活動計画

	コンソーシアム関連				学位プログラム関連	
	総会・運営委員会	幹事会	シンポジウム	その他	入試	その他
令和6年4月		第27回幹事会 4月22日(月) 13:30-14:30 オンライン			募集要項公表(Web) (4月下旬)	オープンキャンパス 4月21日(日)
5月	第7回総会 &参画機関見学会 5月27日(月) 14:00-17:00 東京海上日動(千代田区 大手町)					
6月						
7月		第28回幹事会 7月24日(水) 13:30-14:30 オンライン		筑波大生との交流企画 第1回「筑波大×R2ECキャ リアマッチングデー」 7月8日(月) 13:00-16:00 筑波大学	7月実施 前期課程入試(推薦) 7月実施 後期課程入試(一般・社会人) ※R6年10月入学	
8月					8月実施 前期課程入試(一般・社会人) 8月実施 後期課程入試(一般・社会人)	
9月						
10月		第29回幹事会 10月18日(金) 12:30-13:30 秋葉原コンベンションホール	単独開催シンポジウム 10月18日(金) 14:00-16:30 秋葉原コンベンションホール			
11月	第17回運営委員会 &参画機関見学会 11月28日(木)13:30-16:30 電子航法研究所(調布市)					
12月						
令和7年1月					1-2月実施 前期課程入試(一般・社会人) 1-2月実施 後期課程入試(一般・社会人)	
2月		第30回幹事会 2月10日(月) 13:30-14:30 オンライン	巨大災害研究会との合同 開催シンポジウム 2月28日(金) 14:00-16:30 関西大学梅田キャンパス			
3月	第18回運営委員会 &参画機関見学会 (日時・場所未定)					

※総会・運営委員会未開催機関(R6.7.24現在): 日本電気株式会社、東急プロパティマネジメント、東急総合研究所、DRIジャパン、電力中央研究所、労働安全衛生総合研究所